

都筑区の主任官となって

横浜保護観察所保護観察官 辰巳尚子



令和4年4月から、都筑区の担当となりました。今年度は、三年ぶりに対面での総会、第一回定例研修会等が無事に開催されました。都筑区の保護司の先生方と直接お会いすることが叶ったことを大変うれしく思います。担当となり、私は都筑区を初めて訪れ、とても美しい街並みに驚きました。都筑区は比較的新しいニュータウンで、歩行者の安全を守る「歩車分離」や、森林と水辺、歴史的な遺産を緑道で結ぶ都市計画「グリーンマトリックシステム」等、先進的な開発手法が数多く盛り込まれ、景観デザインに配慮した街作りが施されています。確かに、駅から続く歩道、階段、駅前の広場などが、一般の街並みより広くとら

れ、車は遮断されています。駅前広場はイベント会場としても利用され、季節を感じさせるモダンなデザインの花壇はいつも癒しを与えてくれます。このような美しい景観が映画やドラマのロケ地として数多く使われ、シーンを彩っているのだと実感しました。さらに、区役所を中心に様々な施設が集中し、暮らしやすい街との印象も受けました。

今年度もコロナ禍のため、往来来訪等の対面での面接を十分確保することが難しい状況が続いています。そこで、主任官の面接日を臨時に増やし、対面での面接を確保することとしました。つきましては、保護司の先生方のお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社会福祉協議会の事務局の方々へ、いつも御多忙の中、温かな御対応をしてくださり、心から感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

加藤恒雄氏 瑞宝雙光章受賞

このたび都筑保護司会副会長・加藤恒雄氏は長年にわたる更生保護活動の功績により、本年春の叙勲に際して瑞宝雙光章を受賞されました。10月16日に新横浜グレイスホテルで開催された受賞記念祝賀会にて、御本人より慶びの声をお聞きいたしましたので御紹介させていただきます。

叙勲の感想を伺ったところ、開口一番に語られたのが「こんなに大変な賞を頂くとは思っていませんでした」との謙虚な御言葉でした。何よりも更生保護活動が多くの方たちのために認めて頂けるようになったことが、嬉しく、また有難く感じられるそうです。

保護司として活動されてきた28年間で振り返られても、苦しかったことよりも楽しい思い出の方が多く、特に対象者がきちんと更生してくれた姿を見るのは非常な喜びとのこと。「保護司」と聞くと、一部には危険な役割といった印象を持たれる方もあるようですが、加藤氏の場合は、御自宅に保護観察中の対象者が仲間を連れてやってきて、敷地内に止めて置いた自家用車の車内を荒らされた一件だけだそうで、むしろ誤ったイメージが勝手に独り歩きしてしまうことに危惧を覚えられるそうです。以前、更生保護活動について或る新聞社の取材を受けたところ、語った内容とは全

く違った記事にされてしまい、相手先にクレームを入れても「あの話の内容じゃ、新聞は売れません。どんなに大変で危険な役割であるかアピールしないと…」の一言で済まされてしまったことには未だに強い憤慨を抱かれていますか。

これまでも加藤氏は、更生保護活動を次世代に繋げていくことを常に念頭に置いて務めを果たして来られており、こうした誤ったパブリックイメージの払拭が何よりも望まれてならないと語られました。そして、ボランティア精神をお持ちの方は是非とも進んで保護司に加わって頂けることを希求されています。

また今回同席された加藤氏の奥様・光代夫人も、更生保護女性会の初代副会長を務められるなどして、都筑保護司会の立ち上げの際の御苦勞を共にされてきただけに、御主人の叙勲にはお慶びもひとしおであった御様子を窺うことができました。

この度は誠にありがとうございました。

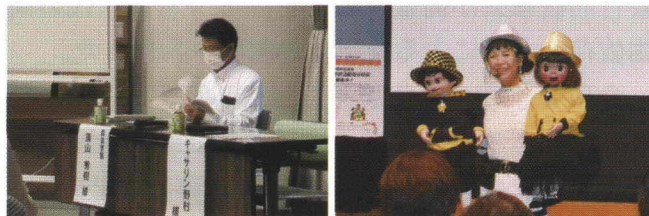


令和4年度『都筑区 更生保護女性会研修会』

10月5日かけはし都筑で、参加人数を考慮して約3年ぶりに開催されました。1部では、都筑警察署生活安全課の須山秀樹氏が、「DVDを観ながら「都筑区の犯罪、特殊詐欺の現状について」と題し、講演されました。都筑警察署管内では、自転車やオートバイ盗が多発。70%が無施錠。“鍵のかけ忘れに注意して”との喚起がありました。近年、架空請求や還付金詐欺など多岐にわたる特殊詐欺が横行し、高齢者だけに限らず若年層にもその被害が及んでいます。

10年程前に多くを占めた「オレオレ詐欺」も多発傾向との事です。「まさか私が騙されるなんて！」被害に遭わない為にも家族間での話し合いや留守番電話にするなどの自衛策を講じましょう。

2部では、キャサリン野村さんによる腹話術です。ケンタ君とさくらちゃんとの絶妙のコラボ。タイムリーなネタの数々も。「笑う門には腹話術。(福来る)」(笑)(笑)(笑)大いに笑い、楽しませていただきました。笑タイムに拍手喝采!!



保護司会 研修会

本年4月1日より成人年齢が従来の20歳から18歳へ引き下げられたことと関連して、少年法が改正となりました。この改正法に於きましては、本来ならば成人に当たる18～19歳の人間にも「特定少年」として、引き続き少年法が適用となります。

ただし、実名報道の解禁や逆送決定後の取り扱いなどの点では、17歳以下の少年とは取扱いが異なる部分があります。

また保護処分に関しましても変更があり、18歳以上の特定少年に対しては6ヶ月の保護観察(交通法関連などの軽微な犯罪)、2ヶ年の保護観察、3ヶ年以下の少年院送致の3つに分かれることとなりました。特に2ヶ年の保護観察の場合は、家庭裁判所の審判に際して予め1ヶ年以下の少年院への収容期間が設定され、保護期間に於ける遵守事項違反の程度が重い場合にこれが適用されることとなります。

なお、特定少年については「ぐ犯」(非行の一步手前の状態)はその対象外に当たりますが、これは年齢的に成人として見なされるためです。

加えて不良処置に関しても改正があり、保護観察中の特定少年に対しては、従来ならば必要とされていた警告を実施することなく、家庭裁判所が少年院収容を決定できるようになりました。この場合、対象者の保護観察は収容時点で停止となり、退院後に再開されます。一方、少年院仮退院者に対する不良処置につきましても、従来の「戻し収

容」から「仮退院取消」へと名称が変更となり、その手続きも簡略化されるなど、保護観察所主体となりました。

なお良好処置につきましては、保護観察処分少年、少年院仮退院者ともに変更はありません。

以上、文言は変わりましたが、指導方法に大きな変更はありません。



成年年齢の引き下げに関するクイズ

以下のうち、正しいものに○、間違っているものに×をつけましょう。

①	18歳になったら、クレジットカードや携帯電話の契約のほか、ローンを組むことや、アパートの賃貸契約も、法律上、親の同意なしにすることができる。	
②	18歳になったら、飲酒や喫煙ができる。	
③	18歳になったら、競馬・競輪・競艇などの公営ギャンブルができる。	
④	18歳になったら、パチンコができる。	
⑤	18歳になったら、国民年金の納付義務がある。	
⑥	18歳になったら、選挙で投票できる。	
⑦	18歳～19歳の者が結婚するときに、法律上、親の同意は必要ない。	
⑧	18歳にならないと、普通車、普通二輪、原付の運転免許は取得できない。	
⑨	18歳になったら、裁判員に選ばれることがある。	
⑩	成年年齢が18歳に引き下げられた後も、18歳・19歳は「特定少年」として、少年法の適用を受ける。	

「社会を明るくする運動」
 都筑保護司会・更生保護女性会 **合同研修会**

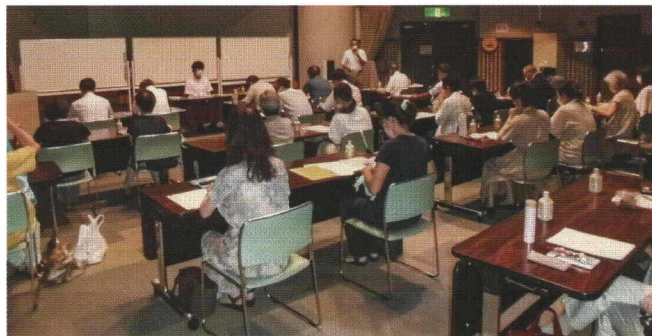
去る7月27日、かけはし都筑にて横浜保護観察所の野沢暁生・統括保護観察官を講師にお招きし、本年度の都筑保護司会・都筑区更生保護女性会合同研修会が開催され、主題は「若者世代の薬物依存～大麻による検挙者の急増～」でした。

令和2年度の薬物事犯は過去10年で最多となり、中でも大麻事犯者の検挙者数は過去最多を数えるまでに急増し、薬物事犯者全体の36%に達しています。

その最大の特徴は、事犯者の約2/3を30歳未満の若者が占めており、特に20歳未満の者は7年前の11倍に及ぶなど、少年事件全体は激減しているにも関わらず若者世代での大麻事犯の急増が憂慮される事態となっています。

こうした若者世代への拡大理由としては、何よりも興味本位といった部分が大きく、これはファッション等の若者文化と結びついているようです。また従来の学校での薬害教育で学んだ注射器利用の薬物と異なり、吸引主体の大麻には使用へのハードルの低さが感じられることも原因の一つです。

加えて大麻の入手し易さも大きな要因となっています。身近なSNSが売買に利用されており、



且つ覚醒剤がg単価6万円前後であるのに対して、乾燥大麻ならば4千円から6千円、大麻樹脂でも8千円程度と安価で、かつ保管リスクの低いことも関連している様です。更には一部海外での大麻の合法化の動きが、使用に対する罪悪感の低下に影響していることも考えられます。

現今の大麻取締法はあくまでも大麻の所持・販売に対するものであり、大麻の使用を処罰することができません。しかし酩酊感や幻覚作用を伴う「ダウン系」薬物とされる大麻は、深刻な依存症に陥る危険性も強いようです。

その場合の弊害としては、知覚や短期記憶、運動能力に障害を来す恐れに加えて、総合失調症やうつ病、呼吸器疾患、心臓病、脳卒中などの発生日リスクが大きく、使用しやすい大麻が他の薬物依存の入り口となりうる危険性も憂慮されます。このため昨今では「大麻使用罪」の必要性を訴える声も高まりつつあります。

「花いっぱい活動」と更生保護女性会
啓発パネル配布

「花いっぱい活動」は、「社会を明るくする運動」の一環として区内の各中学校に花苗をお届けし、中学生が花を見て「おはよう」「ありがとう」「さようなら」「またね」を笑顔で言える心を養うきっかけとなってくれることを願うものです。これまで犯罪予防部会が展開していた「花いっぱい活動」について、今年度より保護司会として更生保護女性会の啓発パネル配布活動と連携して対応することとなりました。





第28回 **区民まつり** 開催日 令和4年11月3日(木)



受賞者名簿



藍綬褒章
鈴木三智子

第71回 神奈川県更生保護大会(令和3年度)

- 【保護司】
 関東地方更生保護委員会委員長表彰
 吉田 勅和 小林 英紀 高橋 満
 関東地方保護司連盟会長表彰
 志村 陽一
- 【更生保護女性会】
 関東地方更生保護委員会委員長感謝状
 男全 弘子
- 横浜保護観察所長感謝状
 岡島 玲子 松尾三喜子
- 神奈川県更生保護女性連盟会長表彰
 大槻 文 早田 和代 舟木 公子

第69回 横浜市更生保護大会(令和3年度)

- 【保護司】
 横浜市長感謝状
 小林 英紀 高橋 満
- 横浜市保護司会協議会会長表彰
 日野 正胤 池田 勝則 鈴木 聡司
- 【更生保護女性会】
 横浜市長感謝状
 飯田 孝枝 鈴木 典子
- 横浜市会議長感謝状
 澤 由美子
- 横浜市更生保護女性連盟会長表彰
 岡部ゆかり 本多 敬子 宍戸 幸子
 清水 美奈 渡部 正子

第70回 横浜市更生保護大会(令和4年度)

- 【保護司】
 横浜市長感謝状
 荒川 政弘 志村 陽一

- 横浜市保護司会協議会会長表彰
 中村 広人
- 【更生保護女性会】
 横浜市長感謝状
 田丸恵美子 中山 達江
- 横浜市会議長感謝状
 真野 道子
- 横浜市更生保護女性連盟会長表彰
 三徳 薫 鏑木富士子 小林 羊子
 井上多紀子 石川真理子

- 【保護司】
 神奈川県社会福祉協議会会長顕彰
 森嶋まつ子

退任保護司

◆令和4年5月31日付
関 利次 保護司

◆訃報(敬称略)

長年にわたり都筑区更生保護女性会 会長としてご尽力いただきました。

生前の御功績を忍び、謹んで哀悼の意を表します。

金子 富子 前会長 (令和3年10月27日)

◆◆ 編集後記 ◆◆

更生保護だより「つづき」第17号をお届けします。さらなるご支援をお願い致します。

広報委員
 山田 妙子 吉田 勅和 森嶋まつ子 真野 道子 平塚 愛乃 鈴木 聡司 唐戸 洋子